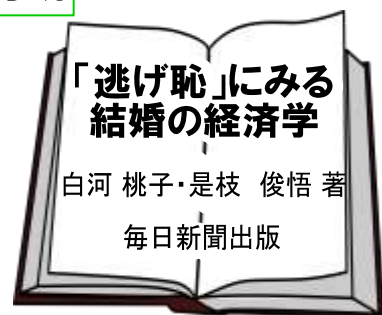


# 新着図書紹介



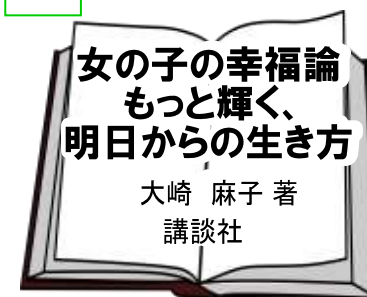
D-48



年収 600 万円未満の夫は専業主婦の妻に「好きの搾取」をしている!? 大ヒットドラマ「逃げるは恥だが役に立つ（通称：逃げ恥）」の舞台をベースに、現代の結婚を豊富なデータと経済の視点で紐解く！

「婚活」ブームの生みの親でもあり、働き方改革のテーマでも活躍するジャーナリストの白河氏と、イクメン・エコノミストとして活躍する是枝氏による結婚の解剖図鑑ともいえる一冊です。（毎日新聞出版 HP より）

C-138



著者が国連本部で出会った「自分の軸」を持っていきいきと生きる女性たち。どんな人生を送りたいのか、何を大事にしたいのか。悩みながらも自分の頭で考え、選択し、一歩ずつ歩む。

誰かの生き方や価値観に照らし合わせることなく、「幸せ」の尺度を自分の中にしっかり持って生きてきた。それが、「これからの時代に幸福な人生を送るための条件」。

では、具体的にどんな習慣や考え方を身につければよいのでしょうか？（講談社 BOOK 倶楽部 HP より）

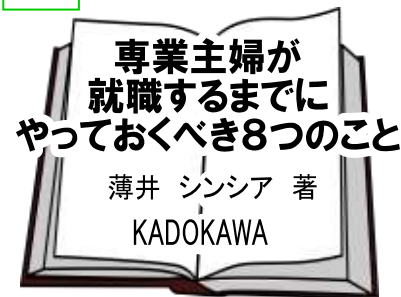
専業主婦として 17 年間の子育てを終え、空の巣症候群に陥った著者は、誘われてバンコクの小学校のカフェテリアで”給食のおばちゃん”として働くことになった。

その後、カフェテリアマネージャー、会員制クラブの電話受付アルバイトを経て ANA インターコンチネンタルホテル東京に。

3 年で営業開発担当副支配人に。2017 年 5 月末より、5 つ星のラグジュアリーホテルに勤務。

本書は、就職という社会との関わりを切に願う主婦への厳しくも温かい応援歌。さあ、勇気を出して一歩前へ！（KADOKAWA HP より）

C-139

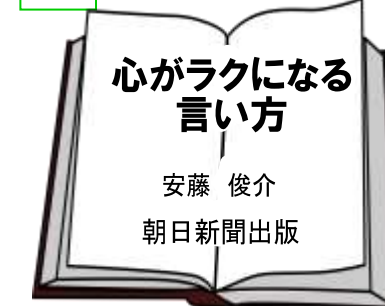


イライラをコントロールするための心構えや考え方、「イライラワード」を言われたときの気持ちの切りかえ方や対応法など、ビジネスシーンで役立つ情報が満載。

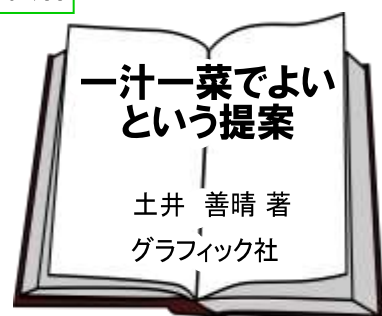
会社の上司、先輩、同僚、部下、取引先そして家族、友人、近所の人まで、遠慮なく発せられる「イライラワード」を迎え撃つための、上手な対処法を紹介する。

怒りをコントロールするための記録術や、生活術も必見。（朝日新聞出版 HP より）

I-194



C-133

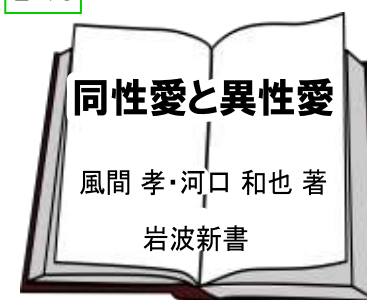


料理研究家・土井善晴が、日本古来の「一汁一菜」を通して現代日本の食文化の見直しを提言する一冊。

一汁一菜（ご飯＋具沢山の味噌汁）の具体的な実践法を紹介しつつ、家庭料理の役割や食文化の変遷、自分で料理することの大切さなどを説いていきます。

（グラフィックス社 HP より）

E-15



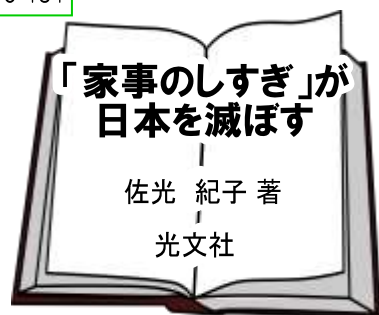
日本は同性愛者に寛容というのは本当だろうか。なぜ「見えない」存在なのか。

エイズ・パニックや「青年の家」利用拒絶事件、ある殺人事件などを題材にしながら、異性愛社会に染み付いたホモフォビア（同性愛嫌悪）の諸相を描き出す。

また、同性愛者が肯定的に生きるための取り組みも紹介。同性愛者から見た日本社会論。（岩波書店 HP より）

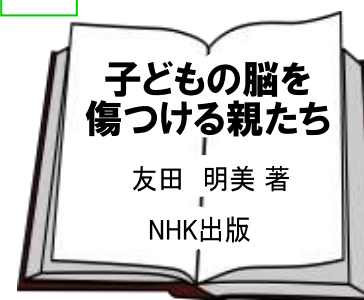


C-134



多くの日本人が、丁寧な暮らしや、家事をきちんとこなすこと、配慮の行き届いた子育てをすることを理想としている。しかし他方では、日本人の「完璧家事」や「手づくり」礼賛の傾向、さらに昨今のシンプルな暮らし（「断捨離」「ミニマリズム」など）の流行は、母親への目に見えない圧力となると同時に、家族との分業を阻んだり、葛藤の原因ともなっている。日本の家事の「あたりまえ」は海外の人の目にはどう映るのか。なぜ日本では男性の家事参加が進まないのか。国や学校により「よい母、よい家庭」であるよう仕向けられてきた歴史とは。（光文社 HP より）

H-64

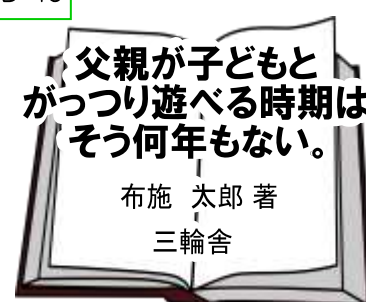


不適切なかかわりが、子どもの脳を変形させる脳科学が明らかにした驚くべき事実。「子どもの前での夫婦喧嘩」、「心ない言葉」、「スマホ・ネグレクト」に「きょうだい間の差別」——。マルトリートメント（不適切な養育）が子どもの脳を「物理的に傷つけ、学習欲の低下や非行、うつや統合失調症などの病を引き起こすことが明らかになった。脳研究に取り組む小児精神科医が、科学的見地から子どもの脳を解明し、傷つきから守る方途と、健全なこころの発達に不可欠である愛着形成の重要性を説く。（NHK 出版 HP より）

子育ては旅のようなもの。とくに父親と息子という男同士は、目的地がはっきりしないわりには、時間が限定された心の冒険旅。熱く深く互いに理解しあった頃に、父親は息子の背中をドシンと押して少年の旅を見送るしかない。

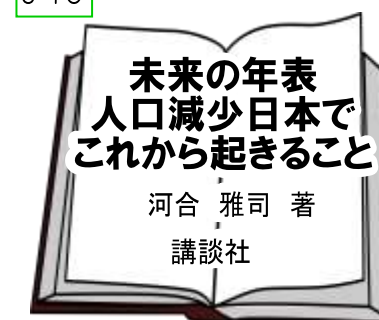
作家・椎名誠 推薦文（三輪舎 HP より）

D-49



第1部は「人口減少カレンダー」とし、年代順に何が起こるのかを時系列に沿って、かつ体系的に示した。未来の現実をデータで示した「基礎編」である。第2部では、第1部で取り上げた問題への対策を「10の処方箋」として提示した。こちらは、全国の公務員・政策決定者にも向けた「応用編」と言える。これからの日本社会・日本経済を真摯に考えるうえでの必読書！（講談社 HP より）

J-70



## ■その他の新書■

分類	タイトル	著者	出版社
A-125	わたしを生きる知恵	河野貴代美	三一書房
A-126	男も女もみんなフェミニストじゃなきや	チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ	河出書房新社
A-127	ママたちを支援する。ママたちが支援する。	NPO 法人 ふらっとスペース金剛	せせらぎ出版
C-135	働く女子のキャリア格差	国保祥子	ちくま新書
C-136	地域と社会を変えた企業家たち	石田英夫	慶応義塾大学出版会
C-137	エンパワーメント働くミレニアル女子が身につけたい力	大崎麻子	経済界
C-140	共働きファミリーの仕事と子育て両立バイブル	日経 DUAL	日経 BP 社
E-16	職場の LGBT 読本	柳沢正和/村木真紀/後藤純一	実務教育出版
E-17	教養としてのジェンダーと平和	風間 孝/加治 宏基/金 敬黙 編著	法律文化社
E-18	先生と親のための LGBT ガイド もしあなたがカミングアウトされたなら	遠藤 まめた	合同出版
F-29	一人でもだいじょうぶ 仕事を辞めずに介護する	おちとよこ	日本評論社
F-30	母・娘・祖母が共存するために	信田さよ子	朝日新聞出版
F-31	夫がアスペルガーと思ったとき 妻が読む本	宮尾益知/滝口のぞみ	河出書房新社
G-64	世界一やさしい右脳型問題解決の授業	渡辺健介	ダイヤモンド社
I-193	自分の答えのつくりかた	渡辺健介	ダイヤモンド社
I-195	引きずらない人の習慣	西多昌規	PHP 研究所
I-196	幸せはあなたの心が決める	渡辺和子	PHP 研究所

## ■貸出のご案内■

- 貸出日 ■ 日・祝日  
年末年始及び  
OKB ふれあい会館休業日
- 貸出時間 ■ 9:00~17:00
- 貸出冊数 ■ 1人3冊まで
- 貸出期間 ■ 2週間まで

※初回にご利用登録が必要です。



## ■問合せ先■

岐阜県女性の活躍支援センター・男女共同参画プラザ

**058-214-6431**